

第4回東京池袋川柳会誌上句会(いけせん)

松橋 帆波 選

特選

「会いたい」を燃料にして、ダル漕ぐ

足立有希

秀作

恋してるうさぎの耳は燃えている

吉川 勇

向かい風 燃えれば燃えるものですね

神奈伊知郎

燃えないで下さい明日が辛いから

上池 三郎

ジュニア部門入賞

好きなことが赤く燃えている

中学二年 / 宮沢真彩

佳作

ゆくりと指から燃えて行く嫉妬

青山一休

嘘つきな指が一本燃えている

東 十郎

心を持って静かに燃えている言葉

岡本 恵

朝夕に脂肪を燃やすスニーカー

Samu

「燃えているのかい、ないのか」

渋谷史恵

燃える場所三よ君に導かれ

井関由香里

失言を燃料にするツイッター

小松真人

火事よりも野次馬を待つグイッダ

松永智文

目ん玉に炎が映り込んでいる

柳谷益弘

二すり過ぎ燃えて来そうなんぼかな

鈴木 章

総評

「燃える」作品、1037作品を詠ませて頂き、心の底から「燃えたい」方が多いことに感銘いたしました。「燃える」から連想される事柄は、物理的燃焼状態、またそれに比喩される精神状態、加えてその状態が進行しているさま、未然状態だが可燃性が高いさま等でしよう。「燃え尽き」てしまうと課題から離れるかと思いましたが、たくさんの果敢なご投稿一句一句を丹念に鑑賞させて頂きました。残念ながら選考に残らなかった作品であっても、その思いは一人ひとりの大切な宝です。思いを大切に、次のチャレンジへ心を燃やしてくださいませ。

選評

特選句 坂道。寸時を惜しんで逢いに行く。深夜だろうか？など色々な状況が思い浮かびます。車や交通機関を使わず自転車という点も若い情熱を想起させます。「会いたい」という括弧を使った表記から、心の眩きや、溢れる情熱が吐かせる「会いたい」という言葉など、様々な場面を連想させます。

秀作 「恋してるうさぎ」...ウサギはひとりぼっちでいるとストレスをためてしまう生物です。常に誰かと繋がっていたい。SNS全盛の今を感じます。「耳」はLINE? Facebook? そんな比喩を感じました。

秀作 「向かい風」...追い風も向かい風も、炎を燃え上がらせるのに十分エネルギーを持っています。追い風は人に能力以上のものを与えますが、向かい風はそれを跳ね返すために通常以上の能力を搾り出すきっかけとなります。内からの力、人の可能性を感じさせる作品です。

秀作 「燃えないで」...燃えないでと訴えているのですが、実は燃えているのです。そして燃えることを期待しています。明日辛いんだけど、受け入れてしまうのです。その辛さは日々の充足感に繋がります。人の業を感じさせる作品です。

ジュニア部門 「好きなこと」...平易な表現でありながら、世代を問わず共有性が高い作品です。「赤く」は安直だけれども、「青く」「碧く」など奇をてらっていないところに好感が持てます。

佳作

「ゆっくりと指から」... ゆっくりと燃えていく嫉妬。やがて二次関数的に急激に燃え上がるのでしょうか。

「嘘つきな指が」... 薬指でしょうか。いつもはめているリングが今日はありません。そんなドラマをイメージしました。

「ペンを持つ」... 感情的にほとばしる言葉より、冷静に淡々と主張を積み上げる言葉のほうが伝達性が高いですね。

「朝夕に脂肪を」... 一駅歩くという健康法をイメージしました。「朝夕」と「スニーカー」が一日のメリハリを感じさせます。

「IH燃えているのか」... 面白いです。「燃焼」という現象は起きていませんが、調理器具を通じてガスが点火しているのと同じような状態を生み出します。厳密には「燃えていない」けれど「燃える」という課題に投稿されたセンスを買いたい。

「燃える場所」... 点火スイッチ。言葉で「ここよ」というだけでなく、仕種や行動で導かれていく。連想を広げてゆくことで楽しめる作品。

「こすり過ぎ燃えてきそうな」... 極端だけれど面白い作品。こういう中高生を見かけます。ゲームに燃えているのでしょうか。中には画面がひび割れている子も。

「失言を燃料にする」... 些細なことが些細なきっかけで騒がれてしまいます。謝罪したり修正したり、削除するとそれがまた燃料になる。他の可燃物が見つかるまでは終わらないのです。

「火事よりも」... 世の中情報化社会ですから、居ながらにして野次馬になれてしまいます。

「目ん玉に炎」... マンガ、アニメでお馴染みの表現。目は口ほどにものを言いますからね。